

地 理 探 究

地理探究

〔I〕 下の文章は地球の大気大循環について述べたものである。文章を読んで各問いに答えよ。

現在の地球上の気候は、主に太陽からの熱エネルギー分布の不均等に起因している。赤道付近では多くの太陽エネルギーを受け、上昇気流が発生する。この上昇気流は（ ア ）を形成し、低緯度の高温多湿な気候に大きな影響を与えている。上昇した空気は高緯度へ移動し、約30度付近で下降する。この下降気流帯から地表に向かって吹く風が、赤道に向かう（ イ ）であり、反対に高緯度側では（ ウ ）が卓越する。これらの風はどちらも年間を通じて安定して吹く（ エ ）であり、風向や強さが一定の特徴を持つ。極地付近では（ オ ）が卓越しており、これらを合わせて大気大循環と呼ぶ。これらの風系は、歴史的にも大きな影響を与えてきた。たとえば大航海時代において、ヨーロッパの航海者たちは赤道付近の（ イ ）や中緯度の（ ウ ）を利用してアメリカやアジアへの航路を開拓した。大気の循環とこれに関連する気候因子は、地球規模での気候パターンを理解する上で欠かせない。

問1 上の文章中の（ ア ）から（ オ ）に当てはまる語句を記述せよ。

問2 大航海時代の航海者として有名なクリストファー・コロンブス（1451－1506）が1492年に出発した際の航海ルートを説明せよ。
（40字程度）

問3 以下の文章の（ カ ）と（ キ ）に当てはまる語句を記述せよ。

- ・気温や気圧といった大気の状態や風や雨などといった大気の状態のことを（ カ ）と呼ぶ。
- ・ある地域で1年を周期として毎年繰り返される大気の平均的な状態のことを（ キ ）と呼ぶ。

問4 気候因子について、例を1つ以上挙げて説明せよ。また、気候因子の違いによって何が生じるのか述べよ。
（50字程度）

〔Ⅱ〕 南アジア（インド）に関する次の文章を読んで各問いに答えよ。

南アジア、特にインドでは、1990年代以降に進められた経済の自由化を柱とする（ ア ）により、国内外の民間企業の参入が活発になり、経済成長が加速した。とりわけ21世紀以降は、都市部を中心に（ イ ）産業の発展が目覚ましく、バンガロールなどが国際的なIT拠点として知られるようになった。また、経済成長に伴って、都市部では消費活動の活発な（ ウ ）が拡大し、雇用や生活様式にも大きな変化が生じている。生活水準の向上は、耐久消費財の需要を高め、インド国内では自動車産業などの製造業も急成長を遂げている。このような経済発展を背景に、インドは（ エ ）と呼ばれる新興経済国グループの一員として、国際経済において存在感を強めている。南アジアの経済と社会は、グローバル化と国内要因が相互に影響しながら、急速に変化している。

問1 上の文章（ ア ）～（ ウ ）に該当する語句を記述せよ。なお、（ イ ）については漢字6字で記すこと。

問2 インドの農産物の消費量と生産量について、以下のキーワードを用いて説明せよ。
（200字程度）
キーワード：緑の革命、白い革命、ピンク革命

問3 （ エ ）に該当する語句をアルファベット5字で記述せよ

問4 （ エ ）に属する国のうち、インド以外の4ヶ国全ての国名を記述せよ。

〔Ⅲ〕 北アメリカに関する下の文章を読んで、各問いに答えよ。

北米は、広大な国土を持つカナダ、アメリカ合衆国、メキシコを中心とした地域である。東部にはなだらかな古期造山帯の（ ① ）があり、鉄や（ ② ）などの資源が豊富である。西部には新期造山帯の（ ③ ）が南北に連なり、その東には広大なプレー

リーや（ ④ ）と呼ばれる大平原が広がる。これらの平原では、（ ⑤ ）やトウモロコシなどの大規模な農業が営まれている。気候は多様で、北部は寒冷な気候、中西部は温帯、南部やメキシコは亜熱帯や熱帯気候となる。

経済面では、アメリカ合衆国が世界の経済を牽引する大国であり、（ ⑥ ）などのハイテク産業が発達する一方で、^(a)旧工業地帯は衰退し、産業構造の転換が課題となっている。カナダは、豊富な森林資源や鉱物資源を背景に、特に製紙業や鉱業が盛んである。メキシコは、（ ⑦ ）やその後継である（ ⑧ ）を通じて、アメリカ合衆国との経済的な結びつきが非常に強い。自動車産業を中心に、アメリカ合衆国やカナダの企業がメキシコに進出し、生産拠点としている。

また、社会面では、多文化主義が発展しており、多くの移民を受け入れている。これは、多様な文化や民族が共存する社会を形成している一方で、人種問題や貧富の差などの課題も抱えている。近年では、メキシコからアメリカ合衆国への（ ⑨ ）や、気候変動による（ ⑩ ）や山火事の被害など、新たな問題にも直面している。

問1 上の文中（ ① ）～（ ⑩ ）にあてはまる語句を下記語群より選んで答えよ。

語群

アンデス山脈 サイクロン 石炭 石油 グレートプレーンズ
北米自由貿易協定（NAFTA） アパラチア山脈 ロッキー山脈 パンパ
小麦 米 シリコンバレー 米国・メキシコ・カナダ協定（USMCA）
バンクーバー 不法移民問題 ハリケーン オーバーツーリズム
北大西洋条約機構（NATO）

問2 下線部（a）について、それらの地域は何と呼ばれているか答えよ。

問3 カナダにおける多文化主義の成立と特徴に関する記述として、誤っているものを一つ選びなさい。

ア. イギリスとフランスの二大植民地宗主国をルーツに持ち、英語とフランス語を公用語としている。

イ. 多様な民族・文化の共存を国の重要な原則とし、各文化の維持を奨励している。

- ウ. すべての移民に対し、自国の文化を捨てて単一の文化に同化することを求めている。
- エ. 多文化主義は、国民のアイデンティティを構成する重要な要素となっている。

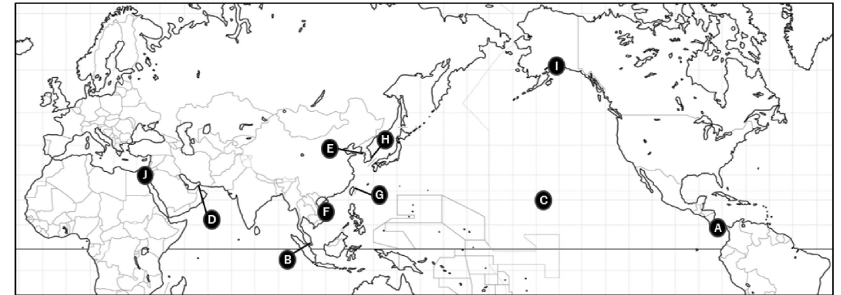
〔Ⅳ〕 交通に関する下の文章を読んで、各問いに答えよ。

交通網は、現代社会の発展に不可欠な基盤であり、人やモノの移動を支える重要な役割を果たしている。産業革命以降、交通機関は高速化・大容量化が進み、陸上交通・水上交通・航空交通の三つに大別される。交通網の発達は、経済活動や人々の生活を大きく変容させ、地域間の結びつきを強めてきた。

陸上交通に目を向けると、都市部では交通渋滞や環境問題の対策として、(①) を発展させた ^(ア) ライトレール交通の導入が進んでいる。郊外の駐車場から公共交通に乗り換える (②) も、こうした取り組みの一つである。都市間輸送では、日本の新幹線に代表される高速鉄道が時間的距離を大幅に短縮し、国土の骨格を形成している。

水上交通は、国際貿易の根幹をなす。^(a) シンガポールや^(b) 釜山に代表される (③) は、コンテナ貨物の中継地として世界的な物流ネットワークの結節点となっている。また、海上ルートを短縮する^(c) スエズ運河や^(d) パナマ運河、ヨーロッパのライン川のような (④) も、円滑な物資輸送に不可欠な役割を担っている。

航空交通は、長距離の国際的な人の移動を支える。近年では^(f) 格安航空会社の台頭が国際観光を大衆化させ、新たな航空需要を創出した。これにより、乗り継ぎ拠点となる (⑤) をめぐる競争は激化しており、アジアでは仁川(ソウル)や^(e) ドバイなどがその地位を競い合っている。またロシアによるウクライナ侵攻後は、東西冷戦時代と同様に中継基地として^(f) アンカレジが再注目されている。このように、陸・海・空の交通システムはそれぞれが高度化し、グローバルなネットワークを形成している。



問 1 上の文中 (①) ～ (⑤) にあてはまる語句を下記語群より選んで記号で答えよ。

語群

- (ア) パークアンドライド (イ) LCC (ウ) BRT (エ) 路面電車(トラム)
- (オ) ハブ空港 (カ) LRT (キ) TGV (ク) ハブポート(中継貿易港)
- (ケ) 国際河川 (コ) 国際観光港

問 2 下線部(ア)と(イ)について、それぞれローマ字の略称を上記語群より選んで記号で答えよ。

問 3 下線部(a)～(f)について、上記地図よりその位置を選んで記号で答えよ。